

## 問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

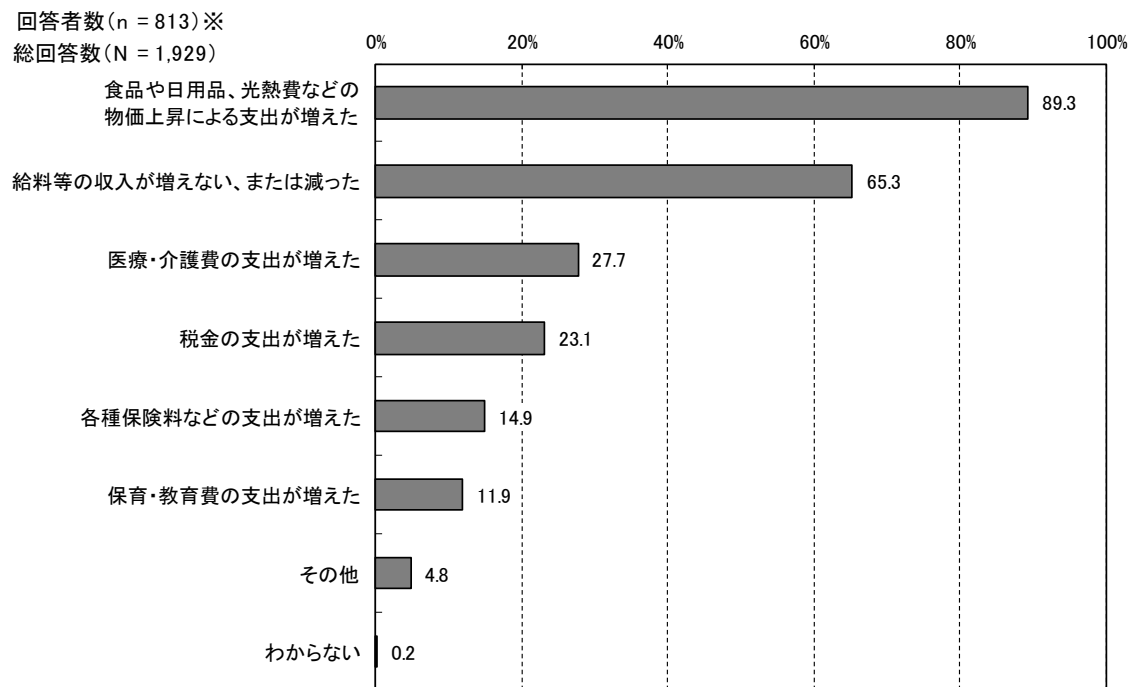
問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。

(3つまで)

全体(図1-2-1)で見ると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が89.3%と最も高く、次いで「給料等の収入が増えない、または減った」(65.3%)、「医療・介護費の支出が増えた」(27.7%)の順となっている。

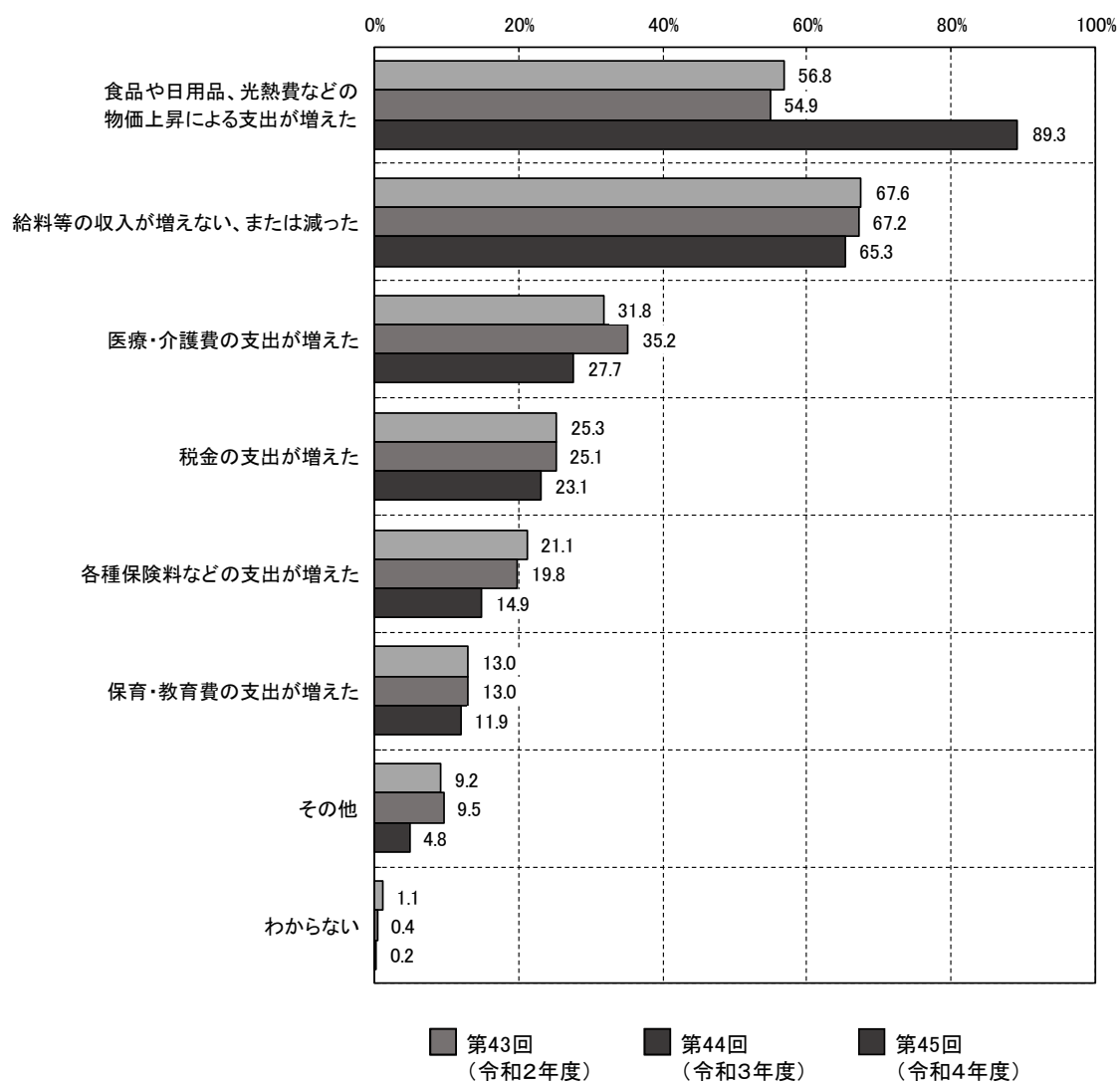
図1-2-1 暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

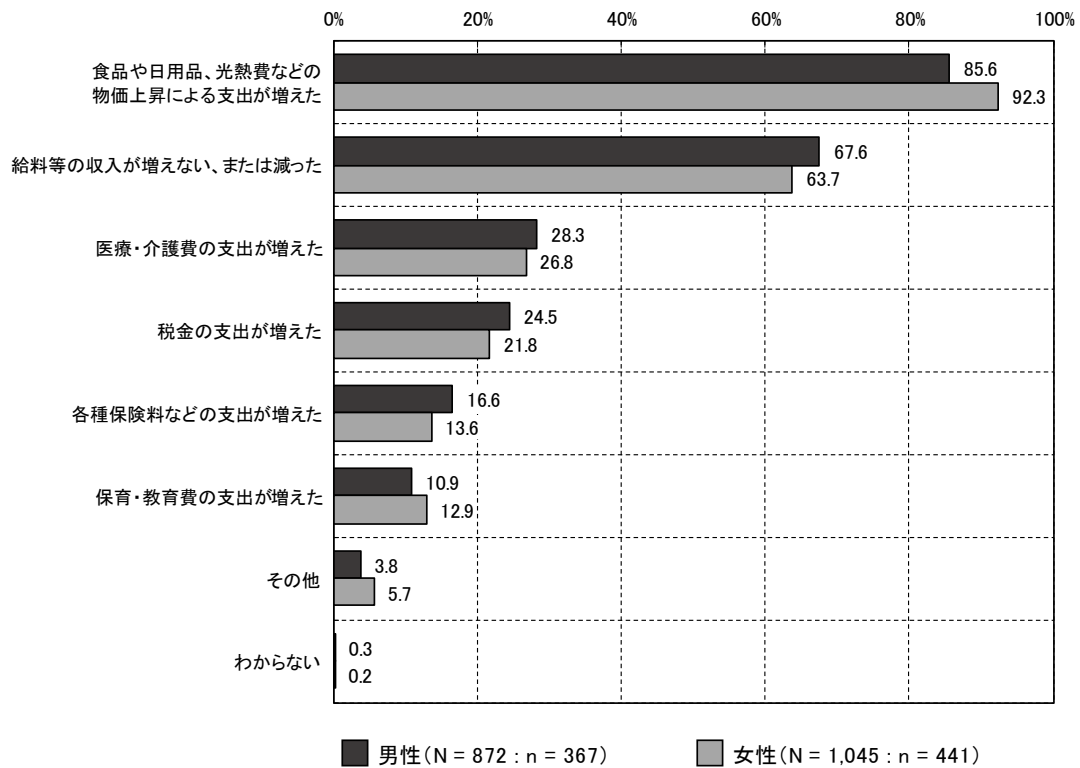
前々回・前回比較（図 1-2-2）でみると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」は、前回に比べて 34.4 ポイント高くなっており最も増加幅が大きい。

図 1-2-2 【前々回・前回比較】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



性別（図 1-2-3）で見ると、男女ともに「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高く、女性が男性より 6.7 ポイント高くなっている。「給料等の収入が増えない、または減った」では、男性が女性よりも 3.9 ポイント高くなっている。

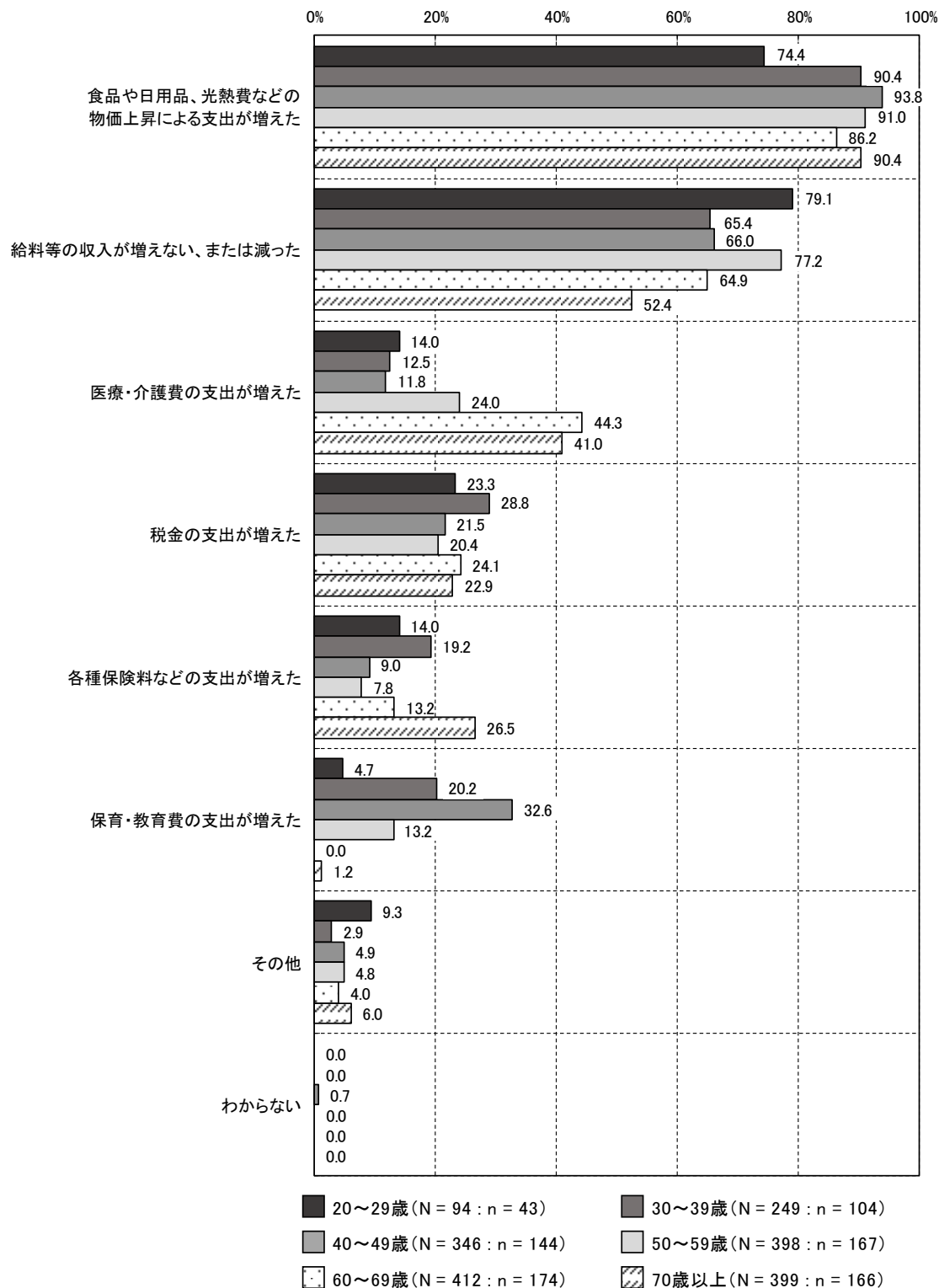
図 1-2-3 【性別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-2-4）でみると、20 歳代を除くいずれの年代においても「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高くなっている。20 歳代では「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、60 歳代、70 歳以上では「医療・介護費の支出が増えた」と、他の年代に比べて高くなっている。

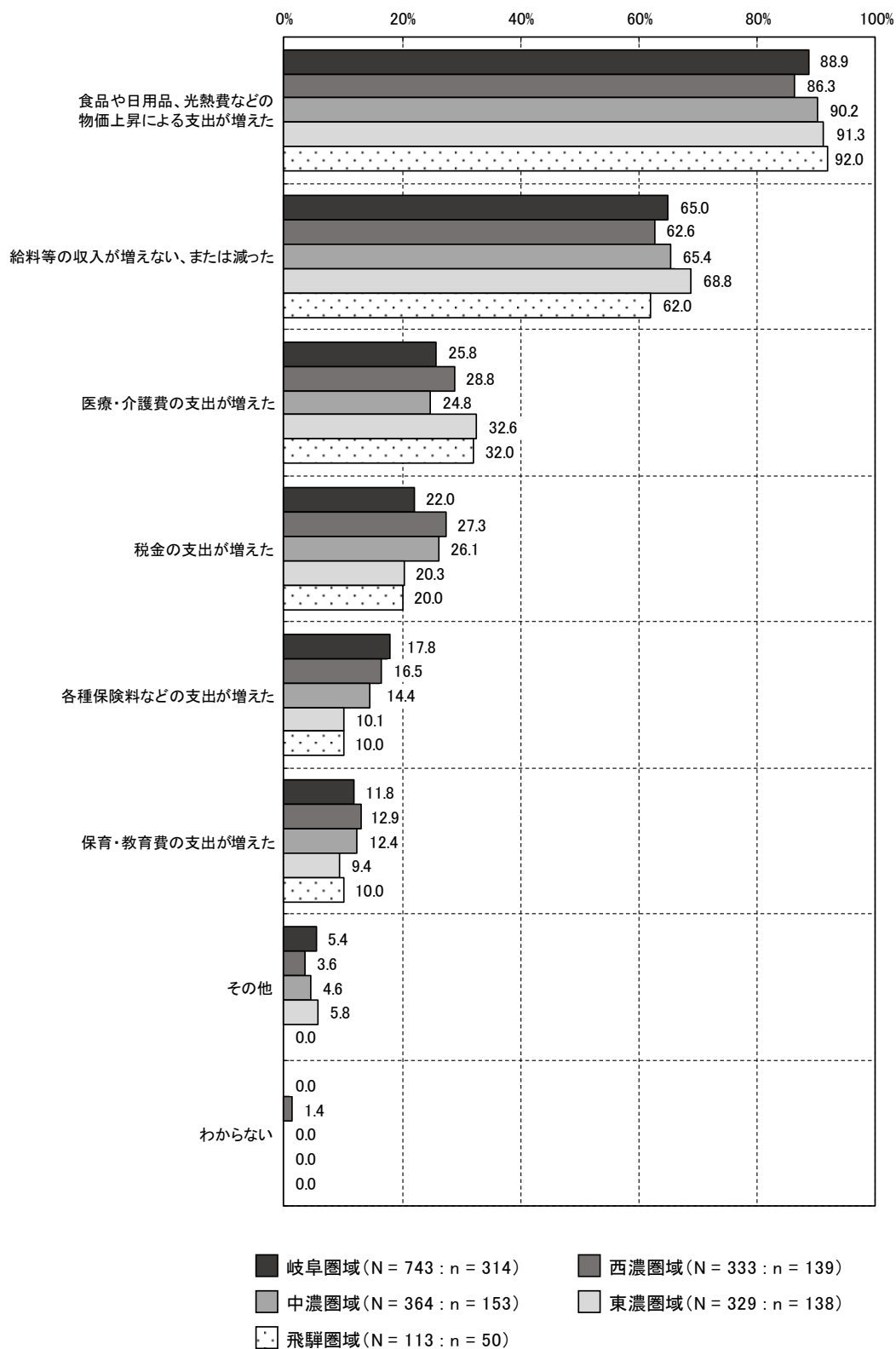
図 1-2-4 【年代別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 1-2-5）で見ると、いずれの居住圏域においても「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高く、次いで「給料等の収入が増えない、または減った」の順となっている。

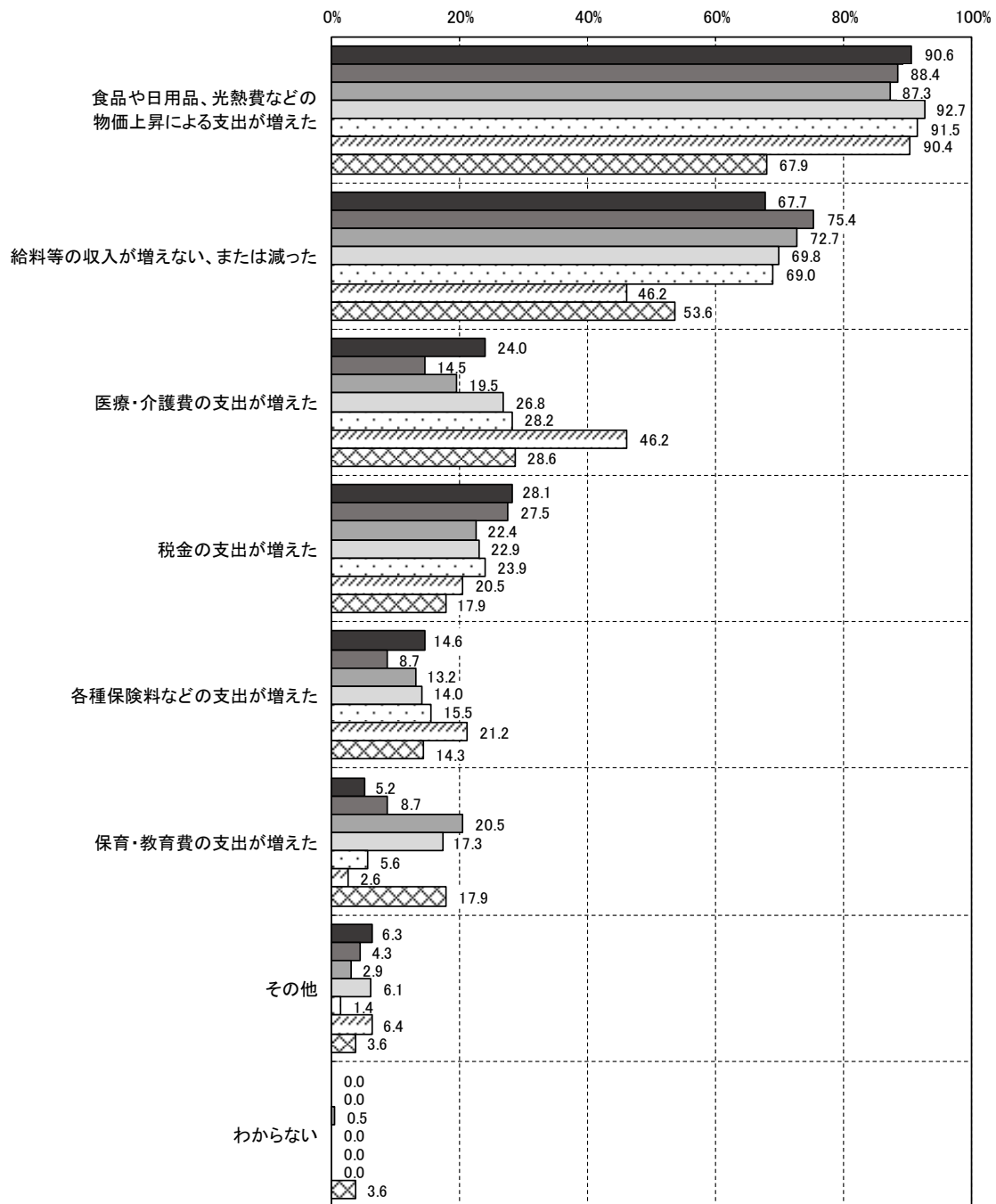
図 1-2-5 【居住圏域別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-2-6）でみると、いずれの職業においても「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高く、次いで「給料等の収入が増えない、または減った」の順となっている。

図 1-2-6 【職業別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



- 自営業 (N = 227 : n = 96)
- 会社・団体役員 (N = 157 : n = 69)
- 正規の従業員・職員 (N = 490 : n = 205)
- パートタイム・アルバイト・派遣 (N = 447 : n = 179)
- 家事従事 (N = 167 : n = 71)
- 無職 (N = 364 : n = 156)
- その他 (N = 58 : n = 28)

※ その他には、自由業、学生を含む。  
 ※ N=総回答数 n=回答者数